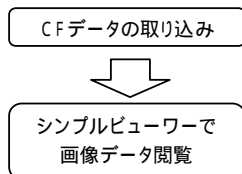


Witness シンプルビューワー使用説明書

Witness で取得したデータをWitness Simple Viewerで閲覧することができます。

データの閲覧手順



注：必ずCFカード内のデータをパソコンにコピーしてからデータを閲覧してください。決してCFカードにシンプルビューワーから直接アクセスしないで下さい。また、CFカードのデータは切り取り等も行わないで下さい。

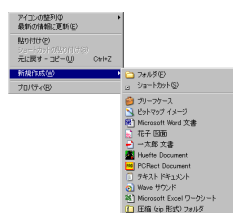
CFデータの取り込み

コンパクトフラッシュカード(以後、CF とします)からパソコンのハードディスクへデータを取り込みます。

1. ハードディスクドライブに Witness データ保存用フォルダを作成する。

パソコンの任意の領域に Witness データを保存するためのフォルダを作成して下さい。

この操作は初回のみで結構です。次回以降の使用においては、ここで作成したフォルダの中にデータをコピーしてください。



画面内の何も無いところで右クリック
新規作成
フォルダ



ここでは、ディスクドライブを「D:」とし、作成したフォルダの名前を「Witness DATA」とします。

2. 「Witness DATA」フォルダ内に CF データ保存用のフォルダを作成する。

「Witness DATA」フォルダ内に新しくフォルダを作成し、データ取得日を参考にフォルダ名を変更して下さい。

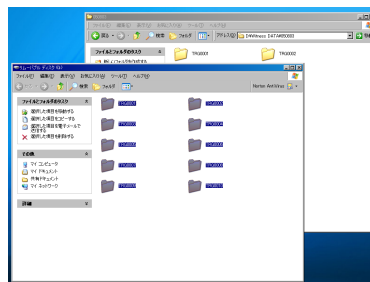
例) データ取得日:平成 17年 8月 3日
フォルダ名:20050803



3. CF からパソコンにデータを転送する。

CF をパソコンに接続して下さい。

「マイコンピュータ」から CF のドライブを開いて下さい。CF 内データを全て選択し、先ほど作成したフォルダ内に CF のデータをコピーします。



注：この時、CF 内のデータに「削除」、「切り取り」、「フォーマット」、「編集」を行わないようにして下さい。Witness 次回使用時に CF の利用ができなくなる可能性があります。

4. CF を安全に取り外します。

パソコンの説明書を参考に CF カードを安全に取り外して下さい。

USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (G:) を安全に取り外します

21:46

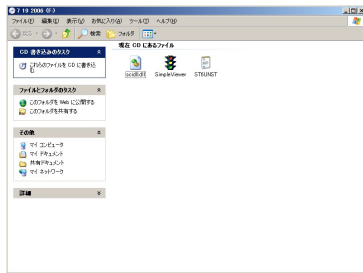
シンプルビューワーで 画像データを閲覧する

画像閲覧ソフト「Witness Simple Viewer(シンプルビューワー)」で画像データを閲覧します。
シンプルビューワーはインストールを行う必要はありません。
CD-ROM 内のファイルをダブルクリックすることで、ソフトが起動します。

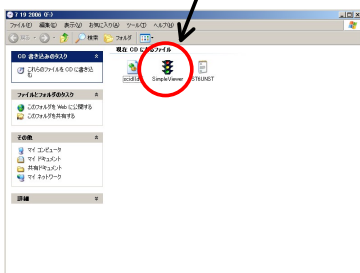
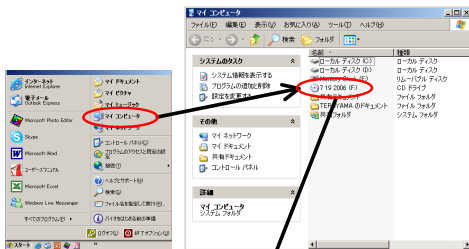
(ここでは、Windows XP を例にとっています。)

シンプルビューワーの起動

1. 「ビューワーソフト」CD-ROM を、お使いのパソコンの CD ドライブにセットします。
2. CD ドライブが自動で立ち上がります。



自動で立ち上がらない場合は、「スタートメニュー」から「マイコンピュータ」を選択し、CD ドライブをダブルクリックしてください。



3. 「Simple Viewer.exe」アイコンをダブルクリックするとシンプルビューワーが起動します。

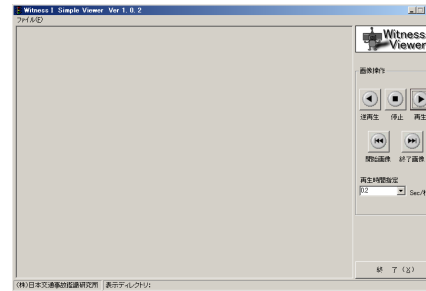
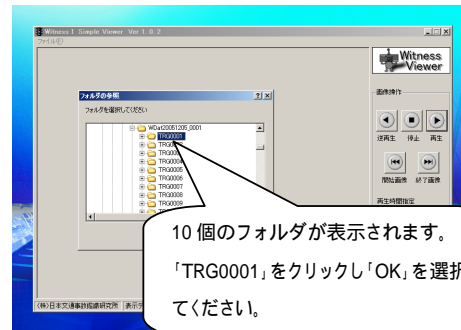


図: シンプルビューワーの起動画面

Witness で取得されたデータをパソコン上に反映

1. 「ファイル」から「開く」を選択する。
 2. CF からコピーしたファイルを開く。
- 例) 「D:」 「Witness DATA」 「20050803」 「TR G0001」の順に選択します。



ファイルの変換が行われた後、次図のように一番先頭の画像が表示されます。



3. データの再生

再生ボタン(▶)をクリックすると再生がはじまります。
詳しい操作の方法については下記を参考にしてください。



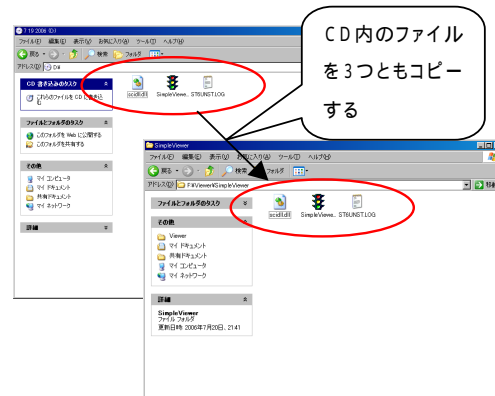
再生 : 取得データを再生します。
逆再生 : 逆順に画像データを再生します。
停止 : 画像再生を停止します。
開始画像 : 先頭の画像にジャンプします。
終了画像 : 最後の画像にジャンプします。

再生時間指定 : 画像の表示切替時間を指定します。

Witnessは1秒間に5枚画像を取得するため、
“0.2枚/秒”がリアルな画像再生速度となります。

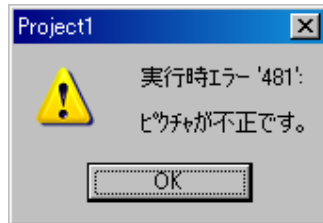
注意事項

- 必ずCFカード内のデータをパソコンにコピーしてからデータを閲覧してください。決してCFカードにシンプルビューワから直接アクセスしないで下さい。
- CF内のデータに「削除」、「切り取り」、「フォーマット」、「編集」を行わないようにして下さい。Witness次回使用時にCFの利用ができなくなる可能性があります。
- シンプルビューワソフトをパソコンにコピーする場合は、ビューワソフトCD内の3つのファイル(Simple Viewer.exe, scidll.dll, ST6UNST.LOG)を同一のフォルダにコピーしてください。



Witness Simple Viewer エラー対応

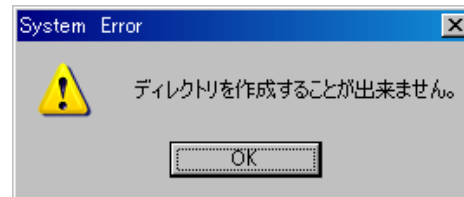
警告1. “ピクチャが不正です。”



原因：
閲覧中の画像データが壊れている場合に発生します。この警告以降の画像を閲覧することは出来ません。

備考：
CFカードへの書き込み中にバッテリー電源の遮断が起こった場合、あるいはCFカードを抜いた場合に画像データが壊れてしまうことがあります。
イグニッションキーOFF後1分間はCFカードを抜かないで下さい。また、頻繁にこの症状が発生する場合は、バッテリー配線の接続を確認し、確実に結線して下さい。

警告2. “フォルダがすでに存在しています”



原因：
異なるフォーマットの「Conv」フォルダ(JPEGデータ展開用フォルダ)が作成されている場合に発生します。

対処法：
閲覧中のフォルダ内に空のConvフォルダが作成されています。このConvフォルダを削除し、再度「ファイル」「開く」を行ってください。